

演題プログラム

12月10日(土)

第2会場 第一会議室

教育セミナー 1 『韓国ACIPから学ぶこと』

12:00~13:00

座長：齋藤 昭彦(新潟大学大学院医歯学総合研究科 小児科学教室)

共催：第一三共株式会社／サノフィパスツール株式会社

E1-1 The Statutory Backgrounds of the Korea Advisory Committee on Immunization Practices (KACIP)

LEE, Jong-Koo, MD, PHD, MPH

Director, KCDC.

E1-2 The Structure and Functioning of the Korea Advisory Committee on Immunization Practices

Hoan Jong Lee, MD, PhD, FIDSA

Professor of Pediatrics, Seoul National University College of Medicine

Chairman, Korea Advisory Committee on Immunization Practices

第3会場 第二会議室

教育セミナー 2 『結核の現況とBCG』

12:00~13:00

座長：石和田稔彦(千葉大学医学部附属病院 感染症管理治療部)

共催：武田薬品工業株式会社

E2 わが国の結核の現況とワクチン戦略

御手洗 聡

結核予防会結核研究所 抗酸菌レファレンス部

第1会場 一ツ橋ホール

高橋賞受賞記念講演

13:45~14:15

座長：倉根 一郎(国立感染症研究所)

高度弱毒化細胞培養天然痘ワクチンLC16m8の開発

橋爪 壮

財団法人日本ポリオ研究所

感染症とワクチン・今年のできごと

14:15~14:35

座長：岡部 信彦(国立感染症研究所 感染症情報センター)

本邦における侵襲性髄膜炎菌感染症アウトブレイクと今後の対応

谷口 清州

国立感染症研究所 感染症情報センター

教育講演『同時接種、筋注、皮下注の問題点』

14:45~15:45

座長：岡田 賢司(国立病院機構 福岡病院)

共催：ファイザー株式会社

Practice of Vaccination in United States:
Administration Route, Immunization Schedule, and Other Aspects

Kenneth Alexander

University of Chicago, Pediatric Infectious Disease

シンポジウム 1

15:45~17:45

『もうちょっと効くインフルエンザワクチンの開発に向けて』

座長：清野 宏(東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 炎症免疫学分野)

熊谷 卓司(くまがい小児科)

- S1-1 H5N1ワクチンの発熱の原因は？
中山 哲夫
北里生命科学研究所 ウイルス感染制御
- S1-2 ワクチンアジュバント効果とバイオマーカーを探る
石井 健
医薬基盤研究所 アジュバント開発プロジェクト
大阪大学 免疫学フロンティア研究センター ワクチン学
- S1-3 H5N1高病原性鳥インフルエンザの近況
迫田 義博
北海道大学大学院 獣医学研究科 微生物学教室
- S1-4 感染防御に効くインフルエンザワクチンを目指して
長谷川 秀樹
国立感染症研究所 感染病理部

イブニングセミナー 1 『抗原ごとの最適アジュバント研究開発』 17:45~18:45

座長：石井 健(医薬基盤研究所／大阪大学 免疫学フロンティア研究センター)
共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

Research and Development of Optimum Adjuvant Tailored for Each Antigen

Nathalie Garcon, PharmD, PhD

Vice President, Head, Global Centre for Adjuvants and Delivery Systems,
GlaxoSmithKline Biologicals

イブニングセミナー 2 『23価肺炎球菌ワクチンの最新エビデンス』 17:45~18:45

座長：岩田 敏(慶應義塾大学 感染制御センター)
共催：MSD株式会社

肺炎球菌ワクチンとインフルエンザワクチンの重要性

丸山 貴也

国立病院機構 三重病院 呼吸器内科

12月11日(日)

第2会場 第一会議室

教育セミナー 3 『ポリオワクチンの開発現状と移行期対策』

12:00~13:00

座長：渡辺 博(帝京大学医学部附属溝口病院 小児科)

共催：第一三共株式会社／サノフィパスツール株式会社

E3 不活化ポリオワクチン導入と移行期対策

清水 博之

国立感染症研究所 ウイルス第二部

第3会場 第二会議室

教育セミナー 4 『新しいワクチン時代の到来：HPV, ロタワクチン』

12:00~13:00

座長：庵原 俊昭(国立病院機構 三重病院)

共催：MSD株式会社

E4 予防接種で防ぐ感染症 ～複数ワクチンを使い分ける時代へ

中野 貴司

川崎医科大学 小児科

シンポジウム 2 『感染症・予防接種の教育と啓発』

13:00~16:00

座長：多屋 馨子(国立感染症研究所 感染症情報センター)
中山 哲夫(北里生命科学研究所 ウイルス感染制御)

- S2-1 米国における予防接種の教育と啓発
齊藤 昭彦
新潟大学大学院医歯学総合研究科 小児科学分野
カルフォルニア大学サンディエゴ校 小児感染症科
- S2-2 医学教育と卒後教育の現状と課題
中野 貴司
川崎医科大学 小児科
- S2-3 医学生から見た予防接種
沖松 翔
千葉大学 医学部5年
- S2-4 “情報”と“積極的・計画的支援”をキーワードに取り組んだ実践から
見えてきたこと
三浦 真喜子
山形県山形市立第十中学校
- S2-5 地域の子どもたちは地域が守る
—地域で効率よく予防接種をすすめるためには—
岩田 祥吾
南寿堂医院
- S2-6 メディアの果たす役割は
橋本 宗明
日経BP社 日経バイオテック編集長
- S2-7 子どもたちに健康についてしっかりと学ぶ機会を
鈴木 寛
前文部科学副大臣 参議院議員

一般演題プログラム

12月10日(土)

第1会場 一ツ橋ホール

免疫応答とアジュバント

9:00~10:24

座長：幸 義和(東京大学医科学研究所 炎症免疫学分野)

堀井 俊宏(大阪大学微生物病研究所附属難治感染症対策研究センター 分子原虫学分野)

- 1-1-01 モルモット感染動物モデルを用いたサイトメガロウイルス (CMV) サブユニットワクチン開発のための基礎検討
○橋本 楓^{1,2,3}、井上 直樹¹
¹国立感染症研究所 ウイルス1部、²帝京科学大学 生命環境学部 バイオサイエンス学科、³山梨大学大学院 医学工学総合教育部 微生物学講座
- 1-1-02 *Salmonella Weltevreden*の感染で誘導される免疫反応及び他のサルモネラ属菌に対する交叉反応性の解析
○中山 佳菜、天野 富美夫
大阪薬科大学 薬学部 生体防御学研究室
- 1-1-03 Vero細胞とマウス脳由来不活化日本脳炎ワクチン粒子上の糖鎖解析について
○鳥庭 弘子、小宮 智義
北里第一三共ワクチン株式会社
- 1-1-04 酵母発現コレラトキシンB鎖タンパク質 (CTB) の糖鎖を利用した部位特異的化學融合法とそのワクチン分子構築への応用
○原國 哲也¹、宮田 健¹、平良 東紀²、新川 武¹
¹琉球大学 熱帯生物圏研究センター、²琉球大学 農学部
- 1-1-05 リーシュマニア原虫由来タンパクの経鼻免疫法におけるmultifunctional Th1の誘導
○松本 安喜¹、宮川 桃子¹、鄭 曉佳¹、綱島 るみ¹、Reed Steven G.²
¹東京大学 大学院農学生命科学研究科 国際動物資源科学研究室、²Infectious Disease Research Institute (IDRI), Seattle, WA
- 1-1-06 新規A型CpG-DNAの粘膜アジュバント作用における形質細胞様樹状細胞の役割
○前山 順一¹、伊保 澄子²、小宮 貴子³、井坂 雅徳⁴、高橋 元秀³、山本 三郎⁵
¹国立感染症研究所 血液・安全性研究部、²福井大学 医学部、³国立感染症研究所 細菌第二部、⁴名古屋市立大学 医学部、⁵日本BCG研究所
- 1-1-07 新規粘膜アジュバントとしてのポリミキシン類のアジュバント活性
○遠藤 正宏¹、吉野 直人¹、菅野 祐幸²、堤 玲子¹、松川 直美¹、佐藤 成大¹
¹岩手医科大学 微生物学講座 感染症学・免疫学分野、²岩手医科大学 病理学講座 先進機能病理学分野

座長：長谷川秀樹(国立感染症研究所 感染病理部)

奥野 良信(阪大微生物病研究会 観音寺研究所)

- 1-1-08 2009/10季節性インフルエンザワクチンの経鼻投与によるA/H1N1pdm09ウイルスの感染防御
○相内 章^{1,2}、浅沼 秀樹¹、谷本 武史³、小田切 孝人¹、田村 慎一²、田代 真人¹、長谷川 秀樹²
¹国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、²国立感染症研究所 感染病理部、³一般財団法人 阪大微生物病研究会
- 1-1-09 細胞培養インフルエンザワクチンの免疫原性検討
○谷本 武史¹、高野 大輔¹、森本 孝一¹、山本 貴仁¹、宮崎 隆²、五味 康行¹、真鍋 貞夫¹、石川 豊数¹、奥野 良信¹
¹一般財団法人阪大微生物病研究会、²東興薬品工業株式会社
- 1-1-10 インフルエンザ不活化全粒子ワクチンの経鼻接種による交叉防御効果の範囲と抗ウイルス中和抗体との関連性
○松岡 須美子¹、岡本 成史¹、Haredy Ahmad^{1,2}、谷本 武史³、五味 康行³、石川 豊数³、奥野 良信³、森 康子⁴、山西 弘一⁵
¹独立行政法人医薬基盤研究所 創薬基盤研究部 感染制御プロジェクト、²大阪大学大学院 工学研究科 生物工学、³一般財団法人阪大微生物病研究会 観音寺研究所、⁴神戸大学大学院 医学研究科 臨床ウイルス学、⁵独立行政法人医薬基盤研究所
- 1-1-11 ヒト肺サーファクタント由来SF-10アジュバントを用いた経鼻インフルエンザワクチンによる抗体産生細胞の鼻腔内局在と抗体サブタイプの検討
○木本 貴士、水野 大、小野 慎司、木戸 博
徳島大学 疾患酵素学研究センター 応用酵素・疾患代謝研究部門
- 1-1-12 抗インフルエンザIgAモノクローナル抗体による交叉防御効果の可能性
○岡本 成史¹、谷本 武史²、高野 大輔²、松岡 須美子¹、Haredy Ahmad^{1,3}、竹中 延之¹、田村 慎一⁴、奥野 良信²、森 康子⁵、山西 弘一⁶
¹独立行政法人医薬基盤研究所 創薬基盤研究部 感染制御プロジェクト、²一般財団法人阪大微生物病研究会 観音寺研究所、³大阪大学大学院 工学研究科 生物工学、⁴国立感染症研究所 感染病理部、⁵神戸大学大学院 医学研究科 臨床ウイルス学、⁶独立行政法人医薬基盤研究所
- 1-1-13 網羅的遺伝子発現法を用いた経鼻インフルエンザワクチンの安全性試験法の開発
○水上 拓郎¹、倉光 球¹、百瀬 暖佳¹、滝沢 和也¹、益見 厚子¹、石井 健²、浜口 功¹
¹国立感染症研究所、²医薬基盤研究所 アジュバント開発プロジェクト
- 1-1-14 経鼻ワクチンの安全性：マウスおよびサルに経鼻投与されたワクチンのリアルタイム分子イメージング
○幸 義和、清野 宏
東京大学医科学研究所

座長：廣田 良夫(大阪市立大学大学院 医学研究科 公衆衛生学教室)
板村 繁之(国立感染症研究所 インフルエンザセンター)

- 2-1-01 インフルエンザワクチン接種と学校内流行：
—小学校における25年間の継続調査—
○川合 志緒子¹、外山 千鈴¹、井ノ口 美香子¹、徳村 光昭¹、南里 清一郎¹、木村 慶子²、菅谷 憲夫³
¹慶應義塾大学 保健管理センター、²こころとからだの元気プラザ 女性のための生涯医療センター、³けいゆう病院 小児科
- 2-1-02 インフルエンザウイルスA (H1N1) 2009 pdmによる今シーズン (2011/2012) の流行予測とワクチンによる家族内感染の予防効果
○馬場 宏一¹、山田 明²、奥野 壽臣³、前田 一洋⁴、加瀬 哲男⁵、高橋 和郎⁵、奥野 良信⁴、安井 良則⁶、岡部 信彦⁶
¹ばば小児科、²滋賀県立大学、³兵庫医大、⁴阪大微研会、⁵大阪府公衛研、⁶国立感染研
- 2-1-03 パンデミック (H1N1) 2009の総括
—医療機関職員の有する抗体の性状解析 (1) —
○熊谷 卓司¹、中山 哲夫²、奥野 良信³、加瀬 哲男⁴、宮田 章子⁵、鈴木 英太郎⁶、岡藤 輝夫⁷、落合 仁⁸、長田 伸夫¹、堤 裕幸⁹、神谷 齊¹⁰
¹医療法人社団恒仁会、²北里生命科学研究所、³(財)阪大微研会、⁴大阪府立公衆衛生研究所、⁵みやた小児科、⁶鈴木小児科医院、⁷岡藤小児科医院、⁸落合小児科医院、⁹札幌医科大学小児科、¹⁰国立病院機構三重病院
- 2-1-04 2010/11シーズンインフルエンザワクチンによって誘導された
A (H3N2) 野生株に対する抗体
○加瀬 哲男¹、前田 章子²、中田 恵子¹、入江 伸³、大藤 さとこ²、廣田 良夫²
¹大阪府立公衆衛生研究所、²大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学、³医療法人相生会九州臨床薬理クリニック
- 2-1-05 インフルエンザワクチン接種後のヒト血清抗体の交叉反応性をもとに
評価した2010/11シーズンA/H3およびB型ワクチンの効果
○岸田 典子¹、藤崎 誠一郎¹、横山 勝²、佐藤 裕徳²、齋藤 玲子³、池松 秀之⁴、徐 紅¹、高下 恵美¹、菅原 裕美¹、伊東 玲子¹、土井 輝子¹、江島 美穂¹、金 南希¹、佐藤 彩¹、田代 真人¹
¹国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、²国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター、³新潟大学 国際感染医学講座、⁴九州大学 先端医療イノベーションセンター

- 2-1-06 経皮ワクチンデバイスー皮膚内溶解型マイクロニードルのヒトにおける安全性試験
○西内 翠¹、廣部 祥子¹、松尾 一彦¹、権 英淑²、神山 文男²、岡田 直貴¹、中川 晋作¹
¹大阪大学 大学院薬学研究科 薬剤学分野、²コスメディ製薬株式会社
- 2-1-07 経皮ワクチン(貼るワクチン)におけるToll様受容体リガンドのアジュバント効果
○ZHAI You¹、松尾 一彦¹、齋場 雄貴¹、権 英淑²、神山 文男²、岡田 直貴¹、中川 晋作¹
¹大阪大学 大学院薬学研究科 薬剤学分野、²コスメディ製薬株式会社
- 2-1-08 皮膚内溶解型マイクロニードルを用いたインフルエンザ経皮ワクチンの開発
○松尾 一彦¹、横田 やよい¹、廣部 祥子¹、権 英淑²、神山 文男²、岡田 直貴¹、中川 晋作¹
¹大阪大学 大学院薬学研究科 薬剤学分野、²コスメディ製薬株式会社

- 2-1-09 昆虫細胞を用いたデング2型タンパクワクチンの作製と評価
○桑原 三和^{1,4}、山地 秀樹²、小西 英二^{1,3,4}
¹神戸大学大学院 保健学研究科、²神戸大学大学院 工学研究科、³神戸大学大学院 医学研究科、⁴大阪大学 微生物病研究所
- 2-1-10 三日熱マラリア伝搬阻止ワクチン候補抗原(Pvs25)の高分子量化による可溶性凝集体構築とそのワクチン効果
○宮田 健¹、原國 哲也¹、坪井 敬文²、Jetsumon Sattabongkot³、橘 真由美⁴、鳥居 本美⁴、新川 武¹
¹琉球大学 熱帯生物圏研究センター 熱帯感染生物学部門、
²愛媛大学 無細胞生命科学工学研究センター、
³Mahidol Vivax Research Center Faculty of Tropical Medicine Mahidol University、
⁴愛媛大学 医学部 寄生病原体学分野
- 2-1-11 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチンの国家検定試験における不活化試験法についての検討
○伊藤(高山) 睦代¹、中道 一生¹、山口(木下) 一美¹、王 麗欣¹、林 昌宏¹、倉根 一郎²、西條 政幸¹
¹国立感染症研究所 ウイルス第一部、²国立感染症研究所

2-1-12 ホルマリン不活化RSVワクチン失敗モデルの作製

○澤田 成史、中山 哲夫
北里生命科学研究所 ウイルス感染制御学I室

2-1-13 ヒトパラインフルエンザ2型ウイルスをベクターとした結核ワクチンの開発

○渡邊 健太¹、松尾 和浩²、保富 康宏^{1,3}
¹独立行政法人 医薬基盤研究所 霊長類医科学研究センター、²日本BCG研究所、
³三重大学大学院 医学系研究科 病態解明医学講座

2-1-14 H5N1インフルエンザウイルスHA組換えワクチニアウイルスの作用機序についての解析

○宗片 圭祐¹、安井 文彦¹、迫田 義博²、喜田 宏²、柴田 伸一³、村上 利夫³、小原 道法¹
¹財団法人 東京都医学総合研究所 感染制御プロジェクト、
²北海道大学大学院獣医学研究科微生物学教室、³化学及血清療法研究所

第3会場 第二会議室

3-1-01 キャッチアップとしてのB型肝炎ワクチンの有効性

○四柳 宏¹、奥瀬 千晃²、青野 淳子³、山田 典栄⁴、安田 清美⁴、鈴木 通博²、小池 和彦⁵
¹東京大学 医学部 感染症内科、²聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科、
³四日市看護医療大学 看護学部、⁴静山会清川病院 肝臓病センター、⁵東京大学 医学部 消化器内科

3-1-02 日本脳炎ワクチン標準接種スケジュール逸脱例における至適キャッチアップ方法の検討

○田中 敏博
JA静岡厚生連 静岡厚生病院 小児科

3-1-03 海外渡航者における年齢別にみた破傷風および日本脳炎ワクチン追加接種の効果

○水野 泰孝¹、竹下 望²、金川 修造²、高崎 智彦³、山本 明彦⁴、小宮 貴子⁴、高橋 元秀⁴
¹東京医科大学病院 感染制御部・渡航者医療センター、
²国立国際医療研究センター 国際疾病センター、³国立感染症研究所 ウイルス第一部、
⁴国立感染症研究所 細菌第二部

3-1-04 鶏胚細胞培養型不活化狂犬病ワクチン接種による発熱副反応

○山元 佳、新藤 琢磨、氏家 無限、竹下 望、大曲 貴夫、加藤 康幸、金川 修造
国立国際医療研究センター 国際疾病センター

- 3-1-05 独立行政法人国立国際医療研究センターにおける黄熱ワクチン診療の実際
○氏家 無限¹、山元 佳¹、新藤 琢磨¹、竹下 望¹、加藤 康幸¹、大曲 貴夫¹、實吉 佐知子²、
上家 和子²、金川 修造¹
¹独立行政法人 国立国際医療研究センター 国際疾病センター、²厚生労働省 成田空港検疫所

- 3-1-06 エクリズマブ投与を理由とした髄膜炎菌ワクチン接種希望者の分析
○菅沼 明彦¹、高山 直秀²、柳澤 如樹¹、中山 栄一²
¹がん・感染症センター 東京都立駒込病院 感染症科、
²がん・感染症センター 東京都立駒込病院 小児科

DPTとBCG

10:12~11:00

座長：渡辺 博(帝京大学医学部附属溝口病院 小児科)

- 3-1-07 BCG Tokyo 172を構成するsubpopulationの遺伝的背景の差異
○林 大介、山本 三郎
日本ビーシージー製造(株) 日本BCG研究所 中央研究所
- 3-1-08 各国BCG亜株ワクチンで免疫したモルモットの有毒結核菌噴霧感染抵抗性
○山本 三郎、林 大介
日本BCG研究所 中央研究所
- 3-1-09 DPT3種混合ワクチンの成人への追加接種について
○宮津 光伸¹、菊池 均¹、後藤 泰浩²
¹名鉄病院 予防接種センター、²総合上飯田第一病院 小児科
- 3-1-10 百日咳抗原に対する血清反応の経時的変化
○小口 薫¹、宮田 章子¹、渡邊 峰雄²、和山 行正³、中山 哲夫²
¹みやた小児科、²北里生命科学研究所、³北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所

3-1-11 妊婦におけるインフルエンザワクチンの安全性・免疫原性に関する研究
(2010/2011シーズン)

○二井 立恵¹、伊佐地 真知子¹、菅谷 亜弓²、二井 栄²、庵原 俊昭³、前田 一洋⁴、
奥野 良信⁴

¹白子クリニック小児科、²白子クリニック、³国立病院機構三重病院 小児科、
⁴(財)大阪大学 微生物病研究会

3-1-12 筋ジストロフィー患者における新型インフルエンザワクチンの免疫原性と
安全性

○斎藤 朋子^{1,2}、大藤 さとこ¹、前田 章子¹、廣田 良夫¹

¹大阪市立大学 大学院 医学研究科 公衆衛生学、²国立病院機構刀根山病院 神経内科

3-1-13 肝疾患患者における新型インフルエンザワクチンの有効性

○大藤 さとこ、福島 若葉、廣田 良夫

大阪市立大学 大学院医学研究科 公衆衛生学

3-1-14 肝移植後成人および小児例におけるインフルエンザワクチン接種の有効性・
安全性についての検討

○鈴木 道雄¹、鳥居 ゆか¹、河野 好彦¹、木村 宏²、伊藤 嘉規¹

¹名古屋大学 大学院医学系研究科 小児科学、²名古屋大学 大学院医学系研究科 ウイルス学

Hib PCV疫学

9:00~10:12

座長：石和田稔彦(千葉大学医学部附属病院 感染症管理治療部)

荒川 宜親(名古屋大学大学院医学系研究科 分子総合医学専攻 微生物免疫学講座)

- 1-2-01 ワクチン接種後に中等度の全身反応を呈した患者に学ぶこと
～アレルギーの予測、慢性EBウイルス感染症を含めて～
○山口 禎夫^{1,2}
国立病院機構栃木病院 ¹感染アレルギー科 臨床研究部 ²小児科
- 1-2-02 マウスを用いた沈降7価肺炎球菌結合型ワクチン接種後に起こる局所反応の
病理学的解析
○鶴岡 純一郎¹、本庄 綾子¹、宮地 悠輔¹、中村 幸嗣¹、勝田 友博¹、立山 悟志¹、
長岡 千春¹、徳竹 忠臣¹、中島 夏樹¹、五島 敏郎¹、田所 衛²、加藤 達夫³
¹聖マリアンナ医科大学 小児科、²聖マリアンナ医科大学 診断病理学教室、
³国立成育医療研究センター
- 1-2-03 15Aによる敗血症・肺炎を繰り返した重症心身障害女児と11A/Eによる
新生児仮死を生じた新生児から考える肺炎球菌血清型特定とPPSVによる
予防戦略考慮の必要性
○成相 昭吉¹、千葉 菜穂子²、和田 昭仁³
¹横浜南共済病院 小児科、²北里大学生命科学研究所 病原微生物分子疫学研究室、
³国立感染症研究所 細菌第一部
- 1-2-04 経鼻腔上咽頭培養を行った乳幼児下気道感染症例におけるHib分離頻度の
推移から考えるHibワクチンの集団免疫への効果
○成相 昭吉
横浜南共済病院 小児科
- 1-2-05 閉鎖集団におけるPCV7・Hibワクチン導入効果
○藤野 元子¹、長井 香¹、千葉 菜穂子²、生方 公子²、中山 哲夫³
¹東京都済生会中央病院 小児科、²北里生命科学研究所 病原微生物分子疫学研究室、
³北里生命科学研究所 ウイルス感染制御研究室
- 1-2-06 侵襲性感染症由来肺炎球菌の莢膜型の変化
○生方 公子、千葉 菜穂子、諸角 美由紀
北里大学北里生命科学研究所 病原微生物分子疫学研究室

座長：岡部 信彦(国立感染症研究所 感染症情報センター)
宮崎 千明(福岡市立西部療育センター)

- 1-2-07 ワクチン普及に向けての健康教育活動の重要性ー北海道斜里町の試み
○茂木 千歳¹、加藤 育民²、千石 一雄²、古谷野 伸³、石村 美樹⁴
¹斜里町 保健福祉部、²旭川医科大学 産婦人科、³旭川医科大学 小児科、⁴斜里町国民健康保険病院
- 1-2-08 ワクチン接種緊急促進事業導入前後の都道府県別に見た
小児用肺炎球菌ワクチンの普及率の比較と生活指標の関連
田中 恵子¹、佐々木 津¹、村田 直樹²、Feliciano James²
¹ファイザー株式会社メディカルアフェアーズ統括部、²ファイザー株式会社ワクチン事業統括部
- 1-2-09 1-4歳肺炎死亡率の日米ギャップ：ワクチンギャップとの関連は？
○渡辺 博
帝京大学 医学部附属溝口病院 小児科
- 1-2-10 乳幼児における小児用肺炎球菌ワクチン(プレベナー®)の使用実態下
における同時接種の状況および安全性について(特定使用成績調査の中間報告)
○草刈 章²、関矢 智子¹、佐々木 津¹、長谷川 均¹
¹ファイザー株式会社、²くさかり小児科
- 1-2-11 「小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチン接種の一時的見合わせ」が
再開後の接種行動に与えた影響について
○伊佐地 真知子、二井 立恵
白子クリニック小児科
- 1-2-12 小児突然死症候群(SIDS)のワクチンとの因果関係評価方法に関する
文献的考察
○松尾 富士男
スタットコム株式会社 統計解析部
- 1-2-13 同時接種に関する文献的検討(DTPとHibワクチンの同時接種を中心に)
○中村 豊^{1,2}、伊藤 純子²、加地 はるみ²、志田 健二²、仲村 和子²、古川 裕²、
前原 幸治²、宮田 章子²
¹ゆたかこどもクリニック、²日本外来小児科学会 診療ガイドライン検討会
- 1-2-14 DPT、Hib、PCV7の単味・同時接種のマウスモデルの検討
○柏木 保代^{1,2}、河島 尚志¹、中山 哲夫²
¹東京医科大学 小児科、²北里生命科学研究所 ウイルス感染制御1

座長：崎山 弘(崎山小児科)

駒瀬 勝啓(国立感染症研究所 ウイルス第三部)

- 2-2-01 臨床実習開始前の医療福祉系学生における予防接種対象疾患に対する血清抗体保有状況の調査(続報)
○井上 亜弥¹、萩原 敏且¹、松本 高明¹、沼崎 啓^{1,2}
¹国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 国際感染症学領域、²国際医療福祉大学病院小児科
- 2-2-02 医学部学生における麻疹・風疹・ムンプス・水痘に対する14年間の血清抗体保有率の推移
○奥野 壽臣¹、太田 千恵美¹
¹兵庫医科大学 病原微生物学、²兵庫医科大学 学生保健室
- 2-2-03 麻疹風疹混合ワクチンの発熱率はそれほど高くない？
ー接種群と対照群の発熱率の比較検討ー
○岡藤 隆夫、永井 崇雄、藤岡 雅司、落合 仁、田原 卓浩、寺田 喜平、宮崎 千明、横田 俊一郎、吉川 哲史、宮田 章子、渡辺 博、武内 一
日本外来小児科学会予防接種委員会
- 2-2-04 麻疹ワクチンで獲得した抗体の持続について
○岡藤 輝夫¹、岡藤 隆夫¹、中山 哲夫²
¹岡藤小児科医院、²北里大学北里生命科学研究所
- 2-2-05 麻疹風疹混合ワクチン第3期接種に対する京都市の取組
○伊藤 正寛
京都市保健所
- 2-2-06 大学新生における各種抗体価の推移と、第4期MR混合ワクチン接種の効果
○小森 由美子
名城大学 薬学部
- 2-2-07 MRワクチン2期・3期・4期接種時にMR抗体価が有意上昇する閾値の検討
○庵原 俊昭¹、二井 立恵²、伊佐地 真知子²、加藤 孝³、落合 仁⁴
¹国立病院機構三重病院 小児科、²白子クリニック小児科、³かとう小児科、⁴落合小児科
- 2-2-08 麻疹ウイルスの単一血清型の分子機構ならびにワクチン効果減弱の可能性について
○田原 舞乃、駒瀬 勝啓、竹田 誠
国立感染症研究所

座長：竹田 誠(国立感染症研究所 ウイルス第三部)
寺田 喜平(川崎医科大学 小児科)

- 2-2-09 平成22年度に地研近畿ブロック内で行われたウイルス学および血清学的麻疹検査の結果について
○加瀬 哲男¹、倉田 貴子¹、高橋 和郎¹、田中 智之²、駒瀬 勝啓³、竹田 誠³
¹大阪府立公衆衛生研究所、²堺市衛生研究所、³国立感染症研究所
- 2-2-10 MRワクチン接種後、約4ヶ月を経て麻疹ワクチン株が検出された症例について
○小川 知子¹、堀田 千恵美¹、小倉 惇¹、福嶋 得忍¹、平野 憲朗²、小山 早苗³、駒瀬 勝啓⁴、中山 哲夫⁵、和山 行正⁶
¹千葉県衛生研究所ウイルス研究室、²ひらの内科、³千葉県印旛健康福祉センター、⁴国立感染症研究所ウイルス第3部、⁵北里大学生命科学研究所、⁶北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所
- 2-2-11 妊婦における風疹抗体スクリーニングと産褥ワクチン接種に関する検討
○菅谷 亜弓¹、伊佐地 真知子²、二井 立恵²、二井 栄¹
¹白子クリニック、²白子クリニック小児科
- 2-2-12 2011年大阪府内における風しん発生状況
○倉田 貴子¹、加瀬 哲男¹、高橋 和郎¹、田中 智之²、駒瀬 勝啓³、森 嘉生³、竹田 誠³
¹大阪府立公衆衛生研究所 感染症部 ウイルス課、²堺市衛生研究所、³国立感染症研究所
- 2-2-13 ラオス、ビエンチャン市における妊娠可能年齢女子の風疹抗体保有状況
○駒瀬 勝啓¹、山本 久美²、牛島 廣治³
¹国立感染症研究所 ウイルス第3部 第1室、²国立感染症研究所 感染症情報センター、³日本大学 医学部 微生物学教室
- 2-2-14 風疹松浦ワクチン株の温度感受性には複数のウイルスタンパクが関与している
○大槻 紀之、坂田 真史、阿保 均、駒瀬 勝啓、竹田 誠、森 嘉生
国立感染症研究所 ウイルス第三部

水痘

9:00~10:36

座長：吉川 哲史(藤田保健衛生大学 小児科)

白木 公康(富山医科薬科大学 医学部ウイルス学講座)

3-2-01 2度の水痘流行を経験した保育園における水痘ワクチンの効果の検討

○落合 仁¹、庵原 俊昭²、菅 秀²¹落合小児科、²国立病院機構 三重病院 小児科

3-2-02 帯状疱疹の2回発症

○白木 公康、大黒 徹

富山大学 医学部 ウイルス学

3-2-03 水痘ワクチンの抗体測定におけるIAHA法の有用性

○尾崎 隆男¹、西村 直子¹、中根 一匡²、舟橋 恵二²、白木 公康³、浅野 喜造⁴、前田 一洋⁵、奥野 良信⁵¹江南厚生病院 こども医療センター、²江南厚生病院 臨床検査技術科、³富山大学 医学薬学研究部 ウイルス学、⁴北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター、⁵阪大微生物病研究会

3-2-04 糖尿病患者における水痘ワクチンによるウイルス特異性免疫賦活

○羽田 敦子¹、森 康子^{2,3}¹財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院 感染症科、²医薬基盤研究所 感染制御プロジェクト、³神戸大学大学院医学研究科微生物感染症学講座臨床ウイルス学分野

3-2-05 水痘ワクチンの接種ウイルス量に関する検討

○西村 直子¹、尾崎 隆男¹、岡井 佑¹、伊佐治 麻衣¹、大島 康德¹、河辺 慎司¹、後藤 研誠¹、細野 治樹¹、山本 康人¹、岩田 泰²、中根 一匡²、舟橋 恵二²¹江南厚生病院 こども医療センター、²江南厚生病院 臨床検査技術科

3-2-06 MRワクチンと水痘ワクチン同時接種の効果ならびに安全性に関する検討

○大橋 正博¹、河村 吉紀¹、加藤 伴親²、西村 直子³、尾崎 隆男³、吉川 哲史¹¹藤田保健衛生大学 医学部 小児科、²豊川市民病院 小児科、³江南厚生病院こども医療センター 小児科

3-2-07 乾燥弱毒生麻しん風しん水痘混合ワクチン(MRVワクチン)の開発

○中原 徹、佐溝 浩佑、村木 優子、白井 宏樹、真鍋 貞夫、石川 豊数、奥野 良信、高橋 理明

一般財団法人阪大微生物病研究会

3-2-08 新しく開発した気管支モデルによる水痘生ワクチンの経鼻投与3法の気道内到達深度比較試験

○馬場 宏一¹、白木 公康¹、奥野 壽臣¹、山西 弘一¹、高橋 理明¹¹(医)宏知会ばば小児科、²国立大学法人富山大学医学部ウイルス学、³兵庫医科大学病原微生物学、⁴(独)医薬基盤研究所、⁵(財)阪大微生物病研究会

3-2-09 近年流行しているムンプスウイルス株の弱毒化の試み

○村木 優子¹、福良 尚美¹、五味 康行¹、真鍋 貞夫¹、石川 豊数¹、奥野 良信¹、
馬場 宏一²、高橋 理明¹

¹一般財団法人 阪大微生物病研究会、²(医)宏知会 ばば小児科

3-2-10 おたふくかぜ生ワクチン(ミヤハラ株)とその親株の比較

○加藤 篤、永田 志保、前寺 知弥、竹田 誠

国立感染症研究所 ウイルス第三部

3-2-11 リバースジェネティクスによって作製したムンプスウイルスの病原性復帰と遺伝的多様性との関連性に関する研究

○木所 稔¹、齋加 志津子²、加藤 篤¹

¹国立感染症研究所 ウイルス第三部、²千葉県衛生研究所 感染疫学研究室

3-2-12 小児におけるインフルエンザ菌type b型(Hib)ワクチン接種前後の血清殺菌能に関する検討

○古泉 ゆか、明田 幸宏、大石 和徳

大阪大学微生物病研究所

3-2-13 肺炎球菌ワクチン再接種時の安全性および免疫原性の検討

○大島 信治¹、永井 英明¹、大石 和徳²

¹国立病院機構東京病院 呼吸器疾患センター、²大阪大学微生物病研究所 国際研究センター

3-2-14 小児の侵襲性肺炎球菌感染症罹患児における血清型特異免疫に関する検討

○大石 智洋¹、石和田 稔彦²、田村 和世³、庵原 俊昭³、大石 和徳⁴

¹新潟大学医歯学総合病院 小児科、²千葉大学大学院医学研究院 小児病態学、

³国立病院機構三重病院、

⁴大阪大学 微生物病研究所 感染症国際研究センター 臨床感染症学研究グループ